よりよい地域をめざして…地域情報紙 買い物や飲食は地元のお店を利用しましょう

シティライフ

2020.2.29 Vol.1126

外房長生夷隅版 配布地域／茂原市・長生郡・いすみ市・夷隅郡・勝浦市【60,000部】

https://www.cl-shop.com

企画・制作／シティライフ編集室 〒290-0056 市原市五井4874-1 TEL.0436 (21) 9311 FAX.0436 (21) 9142

地域で守ろう子どもの安全 次回発行日▶3月7日(土) 中央①

シティライフが提供する動画をWEBで見れます！

左記のアイコンがある記事はシティライフWEBより関連動画がご覧頂けます！

祖母秘伝のだんごを、後世に残す使命

白金茶寮　西郷 光貴さん

2018年3月、市原市君塚にオープンした『和み処 白金茶寮（しろがねさりょう）』。『やちばあちゃん秘伝のだんご』をテーマに地元の素材を生かして作られた団子専門店だ。今年1月に県主催で行われた『食のちばの逸品を発掘2020』コンテストの直売所部門では、見事審査員特別賞を受賞。受賞したみたらし団子は、一般的な製法と違ってもち米を一切使用せず、千葉県産のコシヒカリをそのまま蒸してついた、お米の風味が残る昔ながらの手作り。富津市の醤油、館山市の鰹節、以前は八街市のピーナッツなど千産千消にこだわりながら、店長の西郷光貴さん㉞は一人で店を切り盛りし、『本物のだんご』をもっと地域に知ってもらおうと奮闘中だ。

父の背中を見て育つ

館山市出身の西郷さんは、幼い頃に両親がクレープ屋をやっていたことがきっかけで将来は飲食店をやりたいという夢を持っていた。「鴨川市の高校に通っていた頃は父が雑貨店の経営をしていて、五井駅近くに店舗を構えていたので手伝いでよく市原市に来ていました」。高校卒業後は都内の大学へ進学したが、すぐに3年の時に中退し、WEB制作会社に就職した。「営業職だったんですが、当時はITの進化が目まぐるしくて日々勉強の連続でした。3年ほど勤めた後、父親の経営を手伝うために館山市に戻ったものの、一緒に仕事をすると方針が異なってぶつかりお互いうまくいかなかったんです。ただ、今個人で店を持って初めて、あの頃の父の苦労を感じることもあります」と話す。その後は、千葉県内や都内で転職を繰り返したが、転機は2015年に訪れた。再び、父親から仕事を一緒にやろうと誘われたのだ。それが、館山城の麓にオープンさせた『里見茶屋』。やちばあちゃん秘伝の団子の始まりだった。

「やちばあちゃんは母方の祖母のことで、山形県の田舎町である谷地（やち）に住んでいたことでそう呼んでいました。祖母も昔団子を売っていたんです。米を蒸すので若干の米の感じがそのまま残ること、一般的な団子のように小さく丸めていないことなど祖母の作り方であり、東北の製法を引き継いでいます」と、西郷さんは説明する。他にも、餡子の糖度を33度とかなり控えめに保ち、団子すべてを一人で手作りし、一切の作り置きをしない。

添加物も不使用で、卵や小麦粉、乳製品のアレルギーがある人でも安心して食べられることから、今では大人から子どもまでファンが増加しているようだ。その強いこだわりは、「『里見茶屋』をオープンして4カ月後、やちばあちゃんは他界しました。全然何の報告もできていない状態だったので、当時は悔いもありました。でもその分、絶対に潰してなるものか」という決意から来ている。

受賞したみたらし団子

メディア注目の団子

2018年3月に『和み処 白金茶寮』で独立するまで、父親と共に館山市で販売を続けた西郷さん。その頃から、『やちばあちゃん秘伝のだんご』は注目を浴びていた。テレビ番組『千葉の贈り物～まごころ配達人』や『ぶらり途中下車の旅』、『タカトシ温水の路線バスの旅』の他、ラジオや新聞、雑誌などで取り上げられる機会は多く、日本全国から食べに来る人もいるとか。

「館山では特に花見シーズンは出店すると夜10時頃までやっていました。翌日の営業のため、寝ずに仕込みすることも。当時の努力が、今一人でやれる力となっています」と、話す西郷さんの朝は早い。午前5時に起床して、2階の住居から降りて火をおこす。湯を沸かすのにさえ30分はかかり、充分な米を蒸すのに3時間。10時にオープンしてから17時まで店頭に立つが、団子が売り切れ次第終了！あまりの人気に15分で完売したこともある。

「今では、一からすべて手作りしている和菓子の店は全国でも1割ほどと言われていて、そこに自信を持っています。ただ、昨年の台風の影響やまだ市内での認知が低いため、うまくいかないこともあります。どうしたら自分らしさを出せるか、日々奮闘中です」と言う。

餡子やみたらしだけでなく、スイートポテトやチョコなどコラボレーションしたメニューは和洋折衷とも言うべく、西郷さん独特の持ち味。今は、「美味しそうに食べてくれる子ども達の笑顔が喜び！」というが、今後は2号店オープンを目指していく。月に1回、市原市新生の『房の駅』にも出店中。活動情報および他詳細は問合せを。

（松丸）

審査員特別賞の賞状を持って

（問）西郷さん ℡ 0436-26-6499
https://peraichi.com/landing_pages/view/528xb
市原市君塚 5-5-26　10時～17時（売切れ次第終了）
定休日：月曜、もしくは第4水曜（変更あり）

日本の心を次世代につなぐ
『伝統文化こども茶道教室』

「背筋を伸ばして」と声が掛かり、「おはようございます」と全員で手をつき丁寧に挨拶する。床の間に飾られた掛け軸や花、花入れを愛で、季節や先人たちの想いに考えをめぐらせる。『伝統文化こども茶道教室』の稽古はこうして始まる。茂原市茶道協会が文化庁の支援を受け開催しているこの教室は、今年度で17年目だ。茶道協会の講師が準備に時間をかけ、目の行き届いた指導が行われている。令和元年度は保育園年中から中学1年生の15名が参加し、抹茶のいただき方、点(た)て方、礼儀作法などを茶の湯に学んだ。

稽古は6月22日から毎月第2、第4土曜日の全13回の予定だったが、台風の影響で3回分が中止となり、会場も茂原市中央公民館から本納公民館に移った。「茶道という長い歴史を持つ伝統文化を次世代に伝えるため、『こども茶道教室』を続けています。子どもたちに一番学んでほしいこととは、『相手の気持ちになること』『物を大切にすること』『礼儀作法を身につけること』の3つです」と、茂原市茶道協会会長の小池喜美子さんは話す。

1月11日(土)、保護者を招いた発表会が行われた。稽古日の不足という不安はあったものの、子どもたちは緊張した面持ちながら立派なお点前を披露し、保護者たちは目を細めてその様子を見守った。講師からは「練習を熱心によく頑張りました。上級生が下級生の面倒をよくみてくれました」と、普段の稽古の様子が語られた。この日の菓子は、梅ごろも。子どもたちの晴れ舞台を寿ぐかのようなきれいなピンク色だった。保護者への呈茶もあり、祖父母や父母たちは、運ばれたお茶をじっくりと味わっていた。

祖母の勧めで教室に通い始めたという茂原市立鶴枝小学校1年の石橋優依さんは、着物姿で参加した。自宅では祖母とふくさばきなどの所作の練習もしたという。小学1年から5年間続けて通っている茂原市立東郷小学校5年の加藤愛花(まなか)さんは、生徒を代表して謝辞を述べた。「初めはお菓子に興味があって通い始めましたが、お道具の名前を覚えたりして、教室がどんどん楽しくなりました。今年は今までで一番楽しくお稽古ができました。送り迎えもありがとうございました」と、心のこもった言葉を並べた。今年度の稽古を終えて、子どもたちには修了証書が手渡された。

講師の坂田昭代さんは、「お茶室で学んだことは特別なことではありません。日常生活にしっかりと活かし、子どもたちには日本人としての誇りをもって成長してほしいと願っています」と語った。令和2年度も、引き続き教室開催が予定されている。興味のある方は問い合わせを。(石井)

(問)茂原市茶道協会 坂田さん
☎0475・24・3413

ふるさとビジター館
自然探訪
ハコベ

ナチュラリストネット/自然を愛する仲間の集まりです。豊かな自然環境をいつまでも永く残したいと活動しています。
☎080-5183-9684(野坂)

春の息吹を感じながらも、まだ陽当たりが良い所を選んで散歩をする。陽だまりの野草を見ると、大きさ7ミリぐらいの白い花が見られるようになった。

ナデシコ科ハコベ属の1～2年草ハコベ(繁縷)。ミドリハコベという別名もある。市原の全域で見られ、早くから咲きだす。コハコベ、ウシハコベ、ノミノフスマも、少し遅れて咲きだし、市原全域で見られる。南部の湿地ではサワハコベ、ミヤマハコベがひと月遅れる。

ミドリハコベの花は、白色の5弁。基部まで2裂するので10弁のように見えるのは、ハコベ属の特徴。花の中心に花柱という白い糸のようなものは3本ある。横に這って生育し、よく枝分かれして高さ10～30センチになる。緑色の茎の片側には1列に並んだ毛が生える。葉は対生、長さ1～3センチの卵型。

旧暦1月7日の七草粥、材料のハコベラはハコベのこと。新暦2月はおよそ旧暦の1月に相当する。散歩の途中で摘んで、粥に加えてみるのもいい。七草すべて揃わなくとも野趣は楽しめる。平安時代にはもうあったという行事の伝承で、市原の豊かな自然を、大切に残すことにつなげたい。

(ナチュラリストネット/野坂伸一郎)

上総国一ノ宮 玉前神社提供 読者投稿 お好きに川柳〈第192回〉

◆お題「静か」

一席
トーン下げ静かな口調詐欺の罠
茂原市 道譯賢一

●親心
静かに願う子の受験
茂原市 こま

●村の道
猫と雀と我ひとり
長生村 齋藤裕美

●機嫌悪い
時に愚妻の静寂さ
大網白里市 安延春彦

●静かだね
爺は言うけど耳遠い
茂原市 へいちゃん

●洪水を
忘れたように川静か
白子町 佐川浩昭

●赤ちゃんの
お昼寝タイム皆小声
大網白里市 渡辺光恵

ご祈寿
毎日9時～16時の間
いつでもお受けしています
〈玉前神社〉
TEL.0475-42-2711

【賞品】
一席の方には、玉前神社様より2千円分の図書カードをプレゼント
【応募方法】
ハガキかFAX、メールで、〒番号、住所、氏名(希望の方はペンネームも)、年齢、電話番号を明記の上、〒290-0056 市原市五井4874-1 シティライフ「川柳」係。
3/10(火)〆切 ※一枚のハガキ、FAXに何句書いていただいても結構です。皆様の応募待っております。
fax.0436-21-9142 kiji@cl-shop.com

次回・お題は「明日」です

行広告

有料 1行2,400円(税別) お申込はお早めに
☎0436-21-9311 FAX0436-21-9142

※掲載情報をご利用の際は、売買契約等、当事者間でよくお話し合いの上ご契約ください。取引について当社は一切責任を負えません

◆専用申込書をＦＡＸまたは郵送でお送りします。
◆申込書に所定の内容を記入後、ご返送ください。追って掲載料金等を記載した受注書を発行します。
◆掲載料は前払いなので、受注書を確認されたらお振込ください。掲載紙面は１部ご郵送します。

買います

●**金プラチナ商品券** 相場・額面の90～98％で てんとう虫 ☎0475-72-9400 大網店 水曜定休 0476-36-4388 富里店 043-310-5825 都賀店

生徒募集

●**着付教室** 毎(日)10時～11時・13時～14時 1回500円 浴衣から二重太鼓まで 詳しくはお問合せ下さい きもの館まるへい 茂原店 ☎0475-25-2617 担当：小谷部 岬本店 ☎0470-87-2707担当：飯野

求人

●**正社員・パート・アルバイト募集** 新店舗開設及び業務拡張につきスタッフ募集中 各種保険完備 随時面接致します 委細面談 まずはお電話ください ☎0470-87-2707 まるへい岬本店 担当／髙地

営業案内

●**ピアノのレンタル** シツデン 0120-00-4210

お知らせ

●**教育相談** ニート・不登校・学力不足・ひきこもり 初回無料 要予約 成美学園 ☎0475-44-5777

●**企画列車・いすみ酒BAR列車** 3／28(土)～6／27(土)期間中・(土)のみ運行 いすみ鉄道大原駅発 県内の3つの地酒（木戸泉・東灘・福祝)を堪能するツアー 茂原市在住の唎酒師・林紀子氏の美酒談話と房総中心の料理を楽しむ 20歳以上限定 9,800円 毎週定員20名（最少催行10名） 要申込 日本旅行取扱店舗か日本旅行ホームページにて

●**可世木コレクション裂織＆桜の版画と絵と器を楽しむ** 3／1(日)～22(日) 11～17時 第1・2の(水)(木)休 ギャラリー竹の子（大原） 洋服、帽子、ポシェットなど ☎0470-62-2246

らいふ通信

掲載無料 詳しくはお問い合わせ下さい
☎0436-21-9311 FAX0436-21-9142

※掲載情報をご利用の際は、内容を当事者間でよくお話し合いの上ご利用ください。当社は一切責任を負えません

※個人情報や呼びかけなどにご利用ください。
※お申込み 内容を箇条書きにして、住所、氏名、電話番号を明記し、ＦＡＸか郵送、メールで
FAX0436-21-9142 メール kiji@cl-shop.com

ペット情報

●**子猫差し上げます** 8月生:茶白・オス 12月生:黒・オス ともに3種ワクチン接種済み、エイズ・白血病ウイルス検査は陰性 石井 ☎0475-24-8637

サークル

●**美と健康づくりの社交ダンス** (金)10～12時 茂原市本納公民館 見て楽しく、踊って楽しいダンスの習得 ルンバ・チャチャチャ・サンバ・ワルツ・タンゴ・スロー 月会費：2,000円 ピンピンダンスクラブ・大塚 ☎080-5400-5921

●**天神日本ミツバチ保存会** 毎週末・10～15時・随時参加可 長柄町刑部 ミツバチの蜜源花園作り 環境保全に関心のある方で、日本ミツバチの聖地作りに花や苗木、種まきなど、里山の自然環境を守り育てたいと願う方 不要になった花や花木、果樹、球根などの提供も受付中 ホリサン ☎080-5865-5180

●**書道** 第1・3(土) 14時半～15時半 茂原市粟生野（あおの） 親子や家族一緒も可 楽しく学ぶ 月会費：1,000円 太田 ☎080-5641-0217

イベント

●**南勝浦・ひかりと異空間のひな祭り** 2／29(土) 本寿寺（勝浦市守谷） バンド・お笑いライブ15～18時、ランタン浮遊17時半～21時 参道にろうそくの回廊をつくり、夜空にはランタンを浮遊させるひかりの祭典 飲食コーナーあり ☎080-6565-9672

●**茂原deオペラ「愛の妙薬」** 3／1(日) 14時開演 茂原市東部台文化会館 入場無料 19世紀前半のスペイン・バスク地方を舞台にした、心温まるロマンティックコメディの名作を上演 日本語字幕付 神田 ☎090-8560-6232

●**大人のためのひな祭り・食事と演奏会** 3／1(日) 食事12時～、演奏13時半～14時 寿屋本家（すやほんけ・一宮商工会並び） 明治時代の建物にひな人形飾りを楽しむ 特製ひな祭り弁当・菓子・ドリンク付 演奏は厄を払い長寿を寿ぎ、幸運を招く鼓 さすがの一の宮 ☎0475-36-3989

●**川崎病院文化展** 3／3(火)まで 10～17時、最終日12時まで 大多喜駅前観光センター・本陣 入場無料 水彩・油彩・写真・俳画・陶芸・工芸・書道・押し花絵など 遺作出品：常泉清、鈴木重雄 ☎0470-82-2008

●**長生フィルム会写真展** 3／3(火)まで 9～17時、最終日16時 茂原市立美術館 フィルム写真の素晴らしさに魅了された愛好家クラブ 高校生～80代で銀塩文化の継承を目指す テーマ自由の80点、すべてフィルム作品 笈川 ☎0475-24-0125

●**ボランティア菜の花会** 3／7(土) 13時半～15時半 茂原市総合市民センター 詩吟・健康のための朗詠 無料 二見 ☎090-5508-2778

●**小さなマルシェ・土曜市** 3／7(土) 10時半～15時 農家食堂くりくり山房（茂原市萱場） 産直や手作り食品・雑貨などの直売、絵の展示 カフェは12時～オープン ☎090-7425-1433

●**講演会・安倍九条改憲の問題点** 3／7(土) 13時半～15時半 茂原市総合市民センター 講師：宮腰直子弁護士 入場無料 事前の予約不要 岡崎 ☎0475-23-7481

●**ちば伝統文化の森まつり** 3／7(土) 13時半開演 青葉の森公園芸術文化ホール 無料 県内の郷土芸能である銚子はね太鼓、神余かっこ舞、木更津ばやしと阿波踊りの実演 無料体験ワークショップ(勾玉・組紐・昔のあそび)、新鮮市場もあり ☎043-266-3511

●**春座花市** 3／7(土)8(日) 10～16時 大多喜ハーブガーデン 花屋、ガーデンショップ、クラフト、飲食等、たくさん出店 ☎0470-82-5331

●**暮らしと工藝展** 3／7(土)～15(日) 10～18時、最終日15時まで 家具＋ギャラリー大谷家具製作所 ガラス工芸・中津箒・イ草和雑貨・蒔絵アクセサリー 14(土)ミニほうき作り体験・2,500円・先着順 電話で要予約 大谷 ☎0475-47-3530

●**実技講習会** **椎茸菌木駒培養**：3／7(土)12～14時・椎茸菌の木駒を作る **古山式の接ぎ木**：3／15(日)12～14時・独自の活着100％近い方法、採り木などの話もあり **古山式コンニャク作り**：3／22(日)10～12時・簡単に確実に出来るコンニャクの栽培、タネイモあり **高齢者病対策**：3／28(土)10～12時・乾燥かゆみ、過活動膀胱等を自分でケアする方法 ともに茂原市三ケ谷にて 参加費：1,000円 古山 ☎080-1153-2513

●**フリーマーケット** 3／8(日) スーパーハヤシ大網店駐車場（柿餅） 1区画500円 車・手持ち出店 雨天中止 飲食物・コピー品不可 フォレスト ☎090-1808-3675

●**日本ミツバチ趣味の養蜂講習会** 3／8(日) 9～11時：昨年参加の方対象、問題点や今春捕獲のための仕掛け準備、情報交換等・参加費1,000円 13～16時：初回の方対象、養蜂一般の要素技術を動画とオリジナルテキスト（永久保存版進呈)で分かりやすく説明・参加費2,000円（蜂蜜土産付き） ともに斎藤宅（いすみ市） 問合せはかなり ☎090-4918-2388

●**加納由貴子・手描き染色展** 3／8(日)～22(日) 10～17時、最終日15時 ギャラリー801(睦沢町) (火)(水)定休 入場無料 ブラウス・バッグなどを手描きやステンシルで染めて多数展示 ☎0475-40-3035

●**ダンスパーティ** 3／9・23(月) 各日13～16時・1,000円 ともにK＆Dうちやま（茂原） ☎080-9342-8104

●**シニア劇団PPK48公演 俳優・三波豊和の書下ろし作品3本上演** 3／13(金) 11時半と14時半の2回公演 千葉市文化センター 千葉市民芸術祭参加 入場料：2,000円 近隣市民が参加、千葉市を拠点に活動する劇団 チケット予約はHPで ☎070-3839-8893

●**特典付月例ダンスパーティ** 3／14(土)17時～ 高貫ダンススクール（いすみ市岬町） 参加費：1,000円、軽飲食あり サークルたんぽぽ会員募集中：基本重視のステップとトレーニング・月3回(土)・13～14時・月会費2,000円・初心者、初級者、中高年大歓迎 ☎090-4208-1210

●**藻原寺フリーマーケット** 3／14・28(土) 9～13時 雨天中止 茂原市役所近く 車ごと出店：1,800円 初めて出店の方は開催日に下見の上、本部受付まで ☎090-4950-6193

●**芝原人形ギャラリー2020** 3／15(日)まで 9～16時 長南町郷土資料館 無料 かつて郷土のひな祭りにかかせなかった土人形「芝原人形」 素朴でノスタルジックな当館所蔵の芝原人形を、ひな祭りの時期に合わせて一斉公開 ☎0475-46-1194

●**むつざわ健幸ウォーク** 3／15(日) 9～12時頃終了予定 睦沢ゆうあい館 参加無料 準備運動後、健康運動指導士によるウォーキング指導 睦沢町の春を見つけながら歴史散策コース、4ｋｍコース、7ｋｍコースを歩く 雨天時は屋内での運動 ☎0475-44-2506

●**大多喜落語会** 3／15(日) 大多喜町中央公民館 12時半～津軽三味線演奏：小山貢将・荒木都子 14時～落語：古今亭志ん橋・古今亭志ん吉、江戸太神楽：丸一花仙 前売予約1,800円、当日2,000円 ロビー展示：みやぞぅ木版画展 柴崎 ☎0470-83-1063

●**女声コーラス花音コンサート** 3／15(日) 14時開演 茂原市東部台文化会館 無料 三声のミサ曲、群青、おぼろ月夜など わたなべ ☎090-5821-8964

●**シニアのキーボード・ピアノ演奏会** 3／17(火) 12時5分～55分 茂原市役所ロビー さくらさくら、愛のあいさつ、新世界より家路、学生時代、夏の日の恋ほか 茂原市ピアノ協会 廣田 ☎080-6733-1248

●**福祉・介護のしごと isumiで働こう！就職説明会** 3／21(土) 9時半～13時 無料 勝浦市芸術文化交流センター 夷隅郡市の高齢者介護・障害福祉の優良15法人が勢揃い 新卒・第二新卒・転職・Uターン・Iターン・正職員・パートタイマー 働き方いろいろ 履歴書不要、服装自由 先着30名にプレゼントあり 主催：千葉県福祉人材確保・定着夷隅地域推進協議会 問合せ：勝浦総野園・植村 ☎0470-77-0005

リサイクル

●**差し上げます** 杉の丸太 直径20～50、長さ40～50㎝ 無料で 取りに来られる方 連絡は午後 茂原・イトウ ☎070-1559-0907

●**差し上げます** 家庭用金庫 46×38×32㎝ 80kg 無料 取りに来られる方 いすみ・樋口 ☎080-3549-0552

ハーブ王子のしあわせ健康レシピ

去年の秋の凄まじい台風の影響で、巣箱が全滅に近い被害を受け、いったんは諦めかけた養蜂もどうやら長く寒い冬を生き抜く事ができそうです。桜の花が散るころから始まる分蜂の時期に備え、そろそろ巣箱の設置の準備を始めなければなりません。群れの数が増えるよう今から期待が膨らんでいきます。

毎年送られて来る野菜の種のカタログを見ながら「さあ今年はどんなものを育てようか」と、新しい事にチャレンジする1年を計画していくのも、とてもワクワクします。野菜の幾種類かはすでに育苗箱で小さな芽をひょっこりと出し始めています。昨年と違うのは知人から耕運機を譲り受け、作業用の軽トラックも購入した事。これまではほとんど手作業で、大変な思いをしていた畑仕事でしたが、これからはもう少し楽に、楽しくできるに違いありません。

★アップルクランブル

●材料：リンゴ（できれば紅玉）3個、グラニュー糖1（リンゴと混ぜるもの）大さじ2、薄力粉200g、グラニュー糖2（クランブル用）110g、冷やしたバター（1cmほどのサイコロ状にスライス）120g、塩少々、オートミール大さじ2、シナモン大さじ2

●作り方

①オーブンを190度に温めておく。
②リンゴを各4等分に切り皮を剥き、芯を取ったら約1cmの厚さにスライスする。
③直径20cm、深さ5cmほどのオーブン皿に②を入れ、グラニュー糖1を軽く混ぜ合わせ、指で押しながら均一にする。
④ボウルに薄力粉、グラニュー糖2、塩、バターを入れ、粉とバターが全体的に馴染むようによくこねる。
⑤④を②の上に入れ、リンゴの上に均等になるようにフォークの背などを使って伸ばしていく。
⑥オートミールとシナモンを⑤の上から均等にまぶし、温めたオーブンの中に入れ35～40分程焼く。
⑦焼けたら10分程冷まして皿に盛り、クリームやヨーグルトなどを添える。

長谷川良二。市原市在住。ハーブコーディネーター、ガーデニングコーディネーター、歯科医師。公民館でのハーブの指導や、料理教室を開催しながら自然栽培で野菜を育て、養鶏、養蜂にもトライ中。

シベリアから飛来 いすみの冬空に舞うコハクチョウ

コハクチョウの親子（土屋さん撮影）

いすみ市下布施の県道沿いの田んぼでは、冬の間、コハクチョウの群れが餌をついばんでいる。大多喜町在住の土屋治雄さん㈦は、その姿を写真に収め、観察を続けている。

土屋さんといすみのコハクチョウの出会いは、2008年頃のこと。いすみ市高谷にある『いすみ環境と文化のさとセンター』の施設の1つである『トンボの沼』でコハクチョウの写真を目にした。その写真が『トンボの沼』で撮影されたものと知り、驚いたのが始まりだった。しかし、その後現地でコハクチョウの姿が見られなくなり、再度その姿を目にすることはすぐには叶わなかった。数年して、たまたまいすみ市下布施で車を走らせていた時、田んぼにコハクチョウの群れを見つけたのが2012年だった。

コハクチョウは夜の間、池や湖などを寝床とし、朝から夕方までは餌場で過ごす。土屋さんは、1週間から10日に1度のペースで下布施に通いながら写真を撮り、初めのうちは何気なく数を数えていたが、2014年からは日付と場所、数を記録するようになった。今冬の記録では、10月20日に初めて6羽を確認、1月15日には104羽にまで増えた。場所は、下布施の中で3カ所あり、いずれかで過ごしていることがほとんだ。

「私は専門家ではありませんが、毎年観察しているうちにいろいろなことがわかってきました。さらに詳しく知りたいと思っています」と土屋さん。例えば、シーズンに初めて確認する羽数。6羽や7羽という数が多く、その内訳が成鳥2羽と幼鳥3~4羽であることから、1つの家族なのだろうということがわかってきた。実際、ハクチョウの家族の絆はとても深く、ツガイはどちらかが死ぬまでずっと一緒に過ごすのだという。また、群れで餌を食べている時、1羽だけ周りを警戒するかのように離れて立っている様子を目にすることもあるそうだ。

田んぼで過ごすコハクチョウの様子は、実にのんびりとしている。たまに羽を広げたり、仲間同士でつつきあったり、追い払ったりするしぐさもみせる。幼鳥は、大きさはすでに親鳥とさほど変わらないが、童話『みにくいアヒルの子』にもあるように、体は灰白色をしていて、遠目からでも区別がつきやすい。カラスやアオサギが近くに来ても、お互い知らんぷりだ。春が近づくと、またシベリアへ帰って行く。早ければ2月中旬頃から数が減り始め、3月の初旬にはほとんど姿が見られなくなる。

「千葉でコハクチョウの飛来地というと印西市が有名ですが、私たちのこんなに身近な地域にも毎年飛んできています。地元のもっと多くの方にコハクチョウの事を知ってもらい、大切に見守ってほしいと思います」と土屋さんは話している。（石井）

問土屋さん haruo.tu@icloud.com

土屋さん

親と幼鳥２羽（土屋さん撮影）

相川七瀬LIVE 2020

市原公演 招待券をシティライフ読者5組10名様へプレゼント!

「夢見る少女じゃいられない」「恋心」「トラブルメイカー」「Sweet Emotion」など数々のヒット曲をパワフルに歌い上げてきた相川七瀬のライブが市原市市民会館大ホールにて開催予定（期日未定）

こちらのLIVEチケットを主催である公益財団法人市原市文化振興財団様より シティライフ読者5組10名様へプレゼント!（2歳以下1名まで、膝上鑑賞にて同伴可）応募はメール（present@cl-shop.com）又ははがき（〒290-0056市原市五井4874-1シティライフ編集室）に①郵便番号・住所②氏名③電話番号を記載し「相川七瀬LIVE2020」招待券プレゼント係までご応募ください。3月6日㈮必着。

当選者への発送は、期日が決まり次第行い、発表と代えさせて頂きます。尚、同チケットは市原市市民会館チケットセンター他プレイガイド（チケットぴあ・ローソンチケット・e+イープラス）にて全席指定5，800円（税込）で販売中です。お問合せは、市原市市民会館チケットセンター☎0570・043・043（9時～17時）https://ichiharahall.or.jp/

粗大ごみや遺品の処分… どう片付けたらいいの？

引っ越しや大掃除で出た大量のゴミなど、早く処分したいのにゴミは溜まるばかり…。そんな〝どうしたらいいの？〟におススメなのが、創業40年、累計3千件以上の回収実績を持つクリーンレスキューグループの「かたづけレスキュー千葉」。

そんな同社に増えている依頼が遺品整理。大きな家具などが多く、家一軒分の量になることも。「時間もなく、とても自分たちだけでは片付かない」「怪我しそうで怖い」などがその理由だ。また施設への入居前整理や生前整理として利用される方も増えてきているとか。同社では、そのニーズに応え、スタッフが遺品整理士や終活カウンセラーの資格も取得。〝思い出の詰まったものを丁寧な仕事でお客様の心に寄り添ったお手伝いをさせていただきます〟と伊藤社長。

料金は目安として3LDKで15万円位～。同社は各種買取サービス・リサイクル事業を展開する買取センターGPが運営しているので、処分料に反映できるのが強み。価値ある品が出て、買取査定によっては相殺して片付け料金が無料なんてこともあるとか。悩んでいるよりまずはご相談を。

創業40年。累計3,000件以上の回収実績のクリーンレスキューグループです。
かたづけレスキュー千葉
九十九里営業所 横芝光町北清水5221
茂原営業所 茂原市小林1606-1
いすみ営業所 いすみ市日在410-5
0120-15-8919 http://rescue-chiba.com